



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

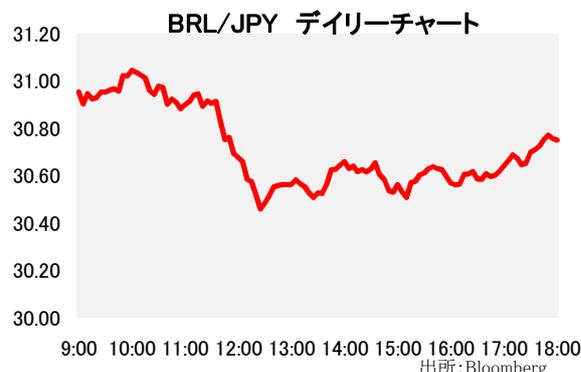
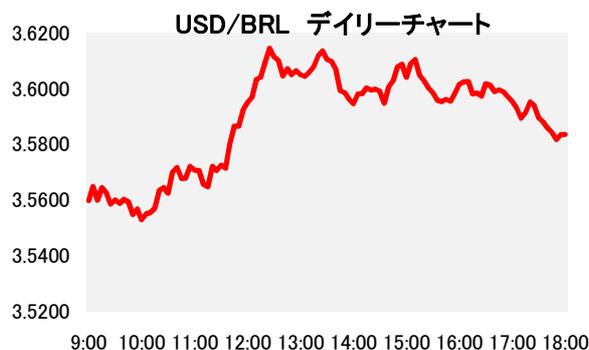
1. マーケット・レート

			5月19日	5月20日	5月23日	5月24日	5月25日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.5640	3.5210	3.5720	3.5710	3.5830	+0.0120
	BRL/JPY	Spot	30.87	31.28	30.58	30.79	30.75	-0.04
	EUR/USD	Spot	1.1202	1.1224	1.1219	1.1143	1.1155	+0.0012
	USD/JPY	Spot	109.97	110.15	109.25	109.97	110.19	+0.22
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	13.835	13.855	13.833	13.830	13.791	-0.040
	Future	1Year(p.a.)	13.232	13.244	13.269	13.243	13.258	+0.015
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.400	2.405	2.597	2.641	2.830	+0.189
	USD	1Year(p.a.)	2.685	2.703	2.760	2.853	3.009	+0.156
株式	Bovespa指数		50,133	49,723	49,330	49,345	49,483	138
CDS	CDS Brazil 5y		354.13	347.50	356.69	355.66	350.98	-4.69
商品	CRB指数		183.882	184.207	183.195	183.345	185.300	+1.95

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FIPE CPI-週次	0.46%	0.50%	0.41%
FGV建設コスト(前月比)	0.36%	0.19%	0.41%
ローン残高(前月比)	--	-0.6%	-0.7%
融資残高	--	3143b	3161b
個人ローンデフォルト率	--	6.2%	6.2%
登録雇用創出合計	-62500	-62844	-118776
(米)MBA住宅ローン申請件数	--	2.3%	-1.0%
(米)マーケット米国サービス業PMI	53.0	51.2	52.8



3. 要人コメント

ハーカー・フィラデル フィア連銀総裁	年内2~3回の利上げは可能。大統領選挙は金融政策とは無関係。
-----------------------	--------------------------------

4. トピックス

- 本日のレアルは3.5740で寄り付いた。テメル新政権が発表した新しい財政収支目標が混乱なく議会を通過したことを受けて、新政権が新しい政策を実行していくことに対する期待感が高まると、朝方のレアルは強含みにて推移し、高値となる3.5530まで上昇した。その後、米国利上げへの期待感を背景にドルが堅調推移する中、中銀仲値公表にかけて大口のドル買いが出た模様で、レアルは安値となる3.6200までジリ安となった。米国の石油統計の結果を受けて原油価格が7ヶ月半ぶりの高値を試す展開になると資源国通貨が買われ、レアルは底堅く推移した。結局3.5830でクローズ。
- 米エネルギー情報局の週間石油統計で予想以上に在庫が減少したことを受けて原油価格が上昇。WTI先物は昨年10月以来の高値となる49ドル台後半まで買われた。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内における情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお問い合わせ申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。